

# 「生きもののふれあいボランティア」の活動状況

金崎絢子

足立区生物園



# 足立区生物園 とは

---



ふれ  
あい

いのち

共生

# 足立区生物園の ふれあい活動

---



カニやヒトデなどのふれあい



モルモットのふれあい



カメのふれあい

# 生きもののふれあいボランティア

## 背景

---

実習に来る大学生・専門学校生

- ・将来、生物にかかわる仕事に就きたい
- ・ふれあい活動について学びたい



**本年度より「生きもののふれあいボランティア」の発足**

# 募集内容

---

- 【対象】 2014年4月1日で満18歳以上
- 【募集人数】 40人程度  
→31人からの応募(現在の活動人数は28人)
- 【任期】 平成26年8月18日～平成27年3月31日
- 【参加条件】 ボランティア保険への加入
- 【作業日時】 生物園の開園期間中の午前2時間 午後2時間
- 【広報手段】 HP、区報、学生への声かけ

# 活動目標



きっずルームでのネコふれあい活動の実施

理由：安全管理能力や接客対応技術が問われる場所



きっずルーム外観



ネコ専用スペース



ふれあいスペース

# 予想される課題と その解決法

---

事故に遭遇した時に適切な対応が出来るか

→普通救命講習の受講

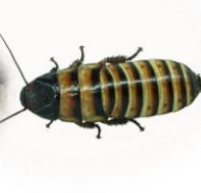
生きもの(ネコ)の知識があるか

→生物園主催「ネコふれあい講習会」の受講

適切な接客が出来るか

→生物園職員による来園者対応技術チェック

# OJT



生きもの研究室



むしむしコーナー



ふれあいコーナー



タッチプール(夏季)



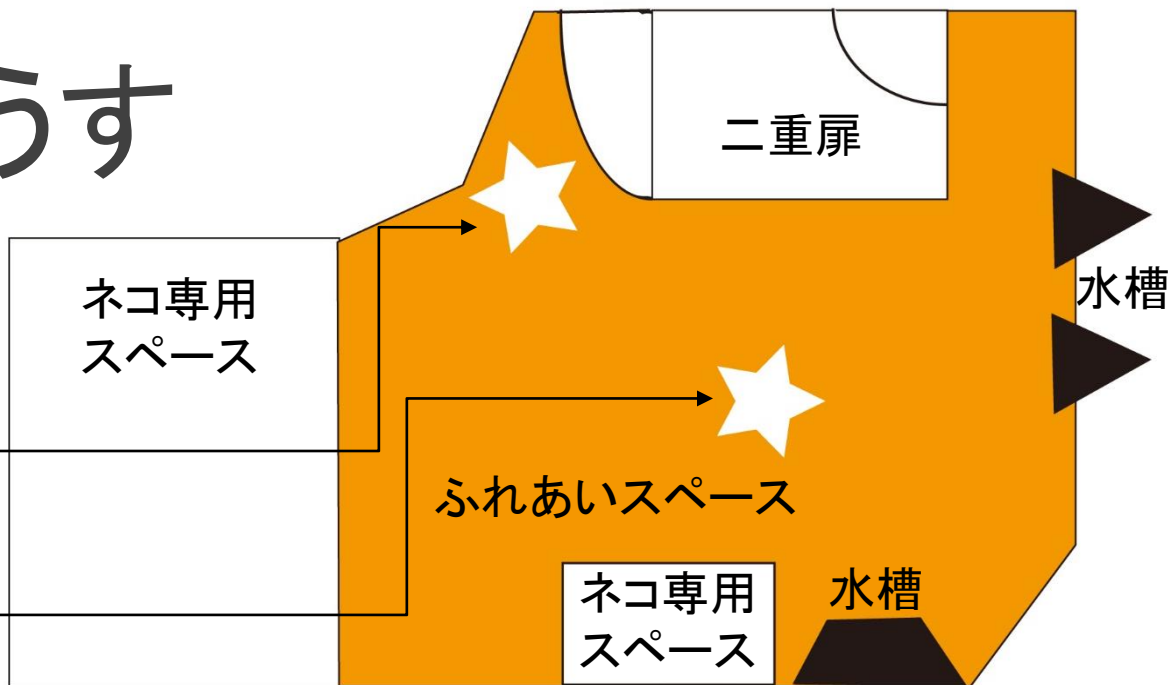
昆虫ドーム(夏季)



# 活動のようす

ボランティアは2人1組で  
きつずルームに入る

- ・注意事項説明
- ・安全管理
- ・ふれあい指導
- ・解説



来園者対応



安全管理



ネコ、魚の解説

# 活動結果

---

- ・多くの来園者に安全に配慮したふれあいの場を提供できるようになった。
- ・ボランティアにとっては職業選択を考える場となっている。



# 課題と対策

---

## 課題

- ・職員間のボランティアに対する意識
- ・ボランティアへの指導体制



## 対策

- ・運営会議の開催
- ・ふれあい、解説活動の見学機会の増加
- ・勉強会の開催



# まとめ

---

いのちの大切さを伝える  
ボランティアの育成を目指す

